

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。



環境社会報告書 2013

株式会社 河合楽器製作所



企業概要

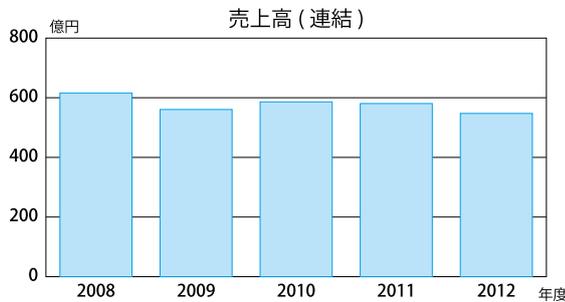
人に感動を与えるもの
すべてを創りたい

『森の中の緑の工房』— 竜洋工場 ShigeruKawai ピアノ研究所

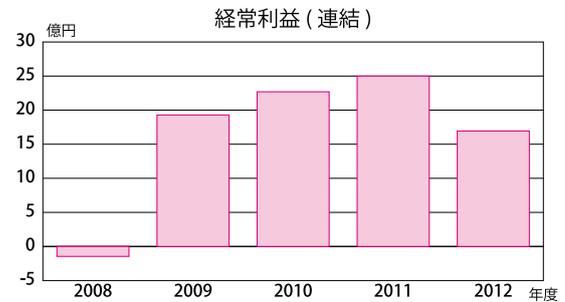
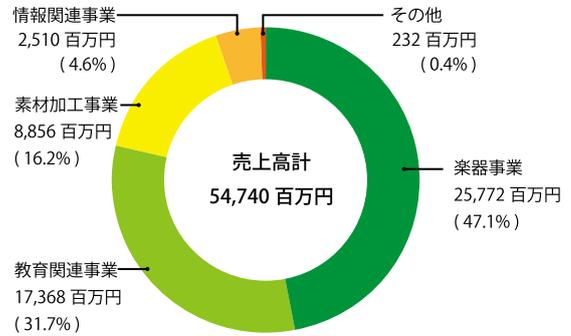
カワイグループの事業と会社の概要

社名 株式会社河合楽器製作所
 本社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
 創立 1927 年（昭和 2 年）8 月 9 日
 設立 1951 年（昭和 26 年）5 月 15 日
 代表者 代表取締役社長 河合弘隆
 資本金 6,609 百万円（2013 年 3 月末現在）

年度		2010	2011	2012
売上高 (百万円)	単独	49,798	47,986	46,006
	連結	58,601	58,058	54,740
従業員数 (名)	単独	1,561	1,469	1,400
	連結	2,830	2,784	2,812



事業セグメント別の売り上げ構成（2012 年度連結）



カワイグループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の
 販売及び楽器調律・修理の役務提供業務

- 国内での販売
 全国直営店・販売代理店
 (株)ディアパソン 他
- 海外での販売
 カワイアメリカコーポレーション
 カワイヨーロッパ GmbH
 カワイカナダミュージック Ltd.
 カワイオーストラリア PTY.Ltd.
 ミディミュージックセンター Inc.
 PT. カワイミュージックインドネシア
 河合貿易 (上海) 有限公司
 カワイ UK Ltd.
 海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理
 (株)河合楽器製作所 調律サービス部
- 楽器の国内での製造
 (株)河合楽器製作所 竜洋工場
- 楽器の海外での製造
 PT. カワイインドネシア
 河合楽器 (寧波) 有限公司
 上海カワイ電子有限公司

教育関連事業

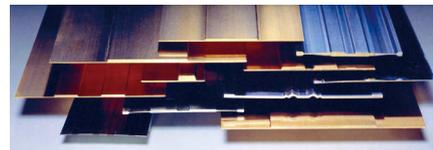
音楽教室・体育教室の運営、教材販売、
 楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売



素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、
 鋳鉄物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造 カワイ精密金属(株)
- 自動車部品用材料の製造 (株)カワイハイパーウッド
- 鋳鉄物の製造及び販売 (株)カワイキャスティング
- 防音室・音響部材の製造及び販売 (株)カワイ音響システム



情報関連事業

- IT 機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売
 (株)カワイビジネスソフトウェア

その他

- 金融関連事業、保険代理店事業 (株)カワイアシスト

編集方針

内 容

カワイグループにおける環境活動側面に加え 2003 年度からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し企業における社会的責任の視点を充実させ 2004 年度版からタイトルも「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。

なお、経済側面につきましては、概要を前ページに記載しました。カワイグループの事業内容の詳細はホームページをご参照願います。

対 象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2013 年版について

- ・出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。
- ・事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめました。
- ・関連資料は資料編にまとめました。
- ・インターネット環境の普及や紙資源の節約を考慮し、2009 年版から、紙媒体でなく、ホームページ上での公開とさせていただいております。

報告対象期間

- ・2012 年度（2012 年 4 月～2013 年 3 月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては 2013 年 4 月以降の最新情報を含んでいます。
- ・集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・(株)河合楽器製作所 本社・竜洋工場・国内営業部門
- ・カワイ精密金属(株)
- ・(株)カワイハイパーウッド
- ・(株)カワイ音響システム
- ・メルヘン楽器(株)

目 次

企業概要	1
カワイグループの事業と会社の概要	2
はじめに	4
社長コミットメント	4
カワイの経営の理念・行動指針	5
カワイグループのあゆみ	6
東日本大震災の被災地への継続的支援活動	7
環境報告	8
カワイの環境への取り組み	8
地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織	8
環境経営	9
2012 年度の環境目標と実績	9
事業活動に伴う環境配慮	10
地球温暖化の防止	10
製品の環境負荷 (LCA)	11
廃棄物削減・再資源化	12
グリーン調達	13
環境配慮型製品	14
ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵	14
医療・研究・産業用防音ルーム 『サイエンスナサール FSS』	15
省電力型デジタルピアノ	16
環境パフォーマンス	17
マテリアルバランス	17
社会性報告	18
経営計画	18
第 4 次中期経営計画	18
コーポレート・ガバナンス	19
コーポレートガバナンス体制・内部統制システム	20
リスク管理体制	21
株主・投資家の皆様とともに	22
お客様との関係	23
文化貢献活動	23
教育事業	25
カワイ健康づくりシステム	26
スポーツコミュニティ	27
コミュニケーション	28
地域社会との共生	28
インドネシアにおける植林活動	29
地域との交流	29
情報発信	30
環境社会報告書のホームページによる開示	31
環境社会報告書の継続的発行	31
資料編	32
環境負荷サイト別一覧	32
第三者意見	33
アンケートのお願い	34

カワイホームページアドレス

カワイホームページ	http://www.kawai.co.jp/
環境への取り組み	http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp
IR サイト	http://www.kawai.co.jp/ir/
製品情報	http://www.kawai.co.jp/products.asp
直営店情報	http://shop.kawai.co.jp/
健康事業	http://www.kawai.co.jp/kenkou/
文化貢献事業	http://www.kawai.co.jp/company/activity/culture.asp
教育事業	http://www.kawai.co.jp/school/
カワイ音楽教室	http://www.kawai.co.jp/school/music/

はじめに

快適で豊かな生活環境の創造のために

社長コミットメント

千年に一度と言われる東日本大震災から2年が過ぎましたが、被災された皆様には一日も早い復興をカワイグループ一同、心よりお祈り申し上げます。

カワイグループも震災直後から全社統一スローガン『がんばろう日本！つながろう音楽で！～カワイは「日本の元気」を応援します～』を掲げ、音楽教室・体育教室の講師による被災地の避難所訪問活動や全国各地でのチャリティーコンサートの収益金や募金により被災地の小中学校にピアノを寄贈するなど、いろいろなかたちで被災地の復興支援を行ってまいりました。今後も音楽を通じて、被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。

2013年度からの3年間を対象期間とする第4次中期経営計画では、長期の会社のめざす方向性を明確にし、将来を見据えた事業基盤づくりを行うとともに、持続的成長のための構造改革に取り組んでまいります。世界の音楽文化創造の担い手としての、責任と誇りを持ち、堅実な成長と発展を目指すことを将来ビジョンとし、具体的には、「グローバルブランドを確立する」、「音楽文化の普及に貢献する」、「お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る」、「収益性を高め継続的な発展を目指す」ことに取り組めます。そして、当計画を遂行するために「7つの主要成長戦略」を策定し、重点的に取り組んでまいります。

カワイグループは環境への配慮としてピアノ生産部門で業界に先駆け、いち早く環境マネジメントシステム ISO14001を導入しました。以来、「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」のもと、国内外の生産拠点に環境マネジメントシステムの導入を推進しております。2011年にはインドネシアのPT.カワイインドネシアでISO14001を、2012年にはカワイ精密金属(株)でエコアクション21、河合楽器(寧波)有限公司でISO14001の認証を取得し、環境マネジメントにおいてもグローバルに活動を強化しております。さらに、インドネシアでの植林活動、ピアノの再生利用など循環型社会形成のための活動にも継続して取り組んでおります。

現代は地球温暖化、エネルギー・資源問題、生物多様性の保全など地球規模の課題を多く抱えておりますが、カワイグループは持続可能な社会の実現と音楽文化の発展に貢献することを基本に、皆様の生活、文化、環境に貢献できる企業として努力を続けていく所存です。

カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまとめました。今後とも皆様にご理解をいただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



代表取締役社長

河合弘隆

カワイの経営の理念・行動指針

創業以来、私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてまいりました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の

生活文化に貢献してゆくために、カワイは次の通りの経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

カワイの経営の理念・行動指針

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきた。
社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の基本的な 考え方と方向性

カワイの原点は音楽… 社会貢献

顧客志向性 …………… 企業倫理

新しい時代への対応… 持続社会

闊達な企業風土の創造…
社会的責任

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を目指して

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切に、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

KAWAI
1996年4月1日制定

カワイグループ全体の 活動の根底をなすもの

積極果敢

自己の向上

挑 戦

地球環境保護活動

継 続

カワイグループのあゆみ

事業沿革

- 1927 河合小市 河合楽器研究所を創立 ピアノの製造・販売を開始
- 1929 河合楽器製作所と改称
- 1935 合名会社河合楽器製作所と改組
- 1951 株式会社河合楽器製作所と改組
- 1955 河合滋 社長に就任
- 1956 カワイ音楽教室を創設
- 1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
- 1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
- 1966 カワイ音楽教室中央講師養成所（カワイ音楽学園）を創設
- 1967 カワイ体育教室を創設

- 1976 西ドイツにカワイドイツランド GmbH を設立
- 1979 西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立
- 1980 金属圧延加工のカワイ精密金属(株)を設立
グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成
- 1981 オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立
- 1984 (株)カワイビジネスソフトウェア設立
- 1988 アメリカにミディミュージックセンター Inc. を設立
- 1989 河合弘隆 社長に就任
- 1991 マレーシアにカワイアジアマニュファクチャリング SDN.BHD を設立
- 1996 新経営の理念、行動指針制定
- 1997 カワイ精密金属(株) 浜松事業所 ISO9002 認証取得

- 1998 (株)カワイハイパーウッド設立
- 1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売
- 2001 インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
- 2002 中国に河合貿易(上海)有限公司を設立
カワイ倫理規範、倫理行動規程制定
- 2003 カワイ精密金属(株)浜松事業所 ISO9001 認証取得
- 2004 カワイ精密金属(株) ISO9001 認証を全社に拡大
中国に河合楽器(寧波)有限公司を設立
- 2005 竜洋工場 ISO9001 認証取得
- 2006 アコースティックピアノの塗装を行うカワイインドネシア第2工場設置
旗艦店「カワイ表参道」リニューアルオープン
- 2007 電子楽器組立を行うカワイインドネシア第3工場設置
中国上海市内にカワイ音楽教室第1号教室開設
- 2008 河合楽器(寧波)有限公司 ISO9001 認証取得
PT. カワイインドネシア第3工場 ISO9001 認証取得
- 2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO9001 認証取得
カワイ精密金属(株) 浜松工場の建物増設
- 2011 インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立
- 2012 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」モデルチェンジ
中国に上海カワイ電子有限公司を設立
(株)カワイキャスティング設立
- 2013 旗艦店「カワイ梅田」リニューアルオープン
グランドピアノ GX シリーズ誕生

環境活動

- 1975 生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年
- 1978 生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理をスタート
- 1980 『森の中の緑の工房』竜洋工場完成

- 1994 地球環境憲章制定 シンボルマーク決定
全社的な推進組織の地球環境委員会発足
- 1996 環境推進室に名称変更
- 1997 竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞
- 1998 舞阪工場で ISO14001 認証取得
竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として中部通商産業局長表彰
- 2001 タイプIII環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示
舞阪工場「危険物優良事業所」表彰
- 2003 工場統廃合によるインフラの整備
木屑ボイラーの廃止
- 2005 竜洋工場が緑化優良工場として(財)日本緑化センター会長奨励賞 受賞
- 2006 河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の感謝状
木材調達ガイドラインの開示
- 2007 (株)カワイハイパーウッドでエコアクション 21 認証取得
「カワイの森」インドネシア植林事業開始
- 2008 産業廃棄物適正処理推進功労者に対する静岡県知事褒賞 受賞

- 2010 メルヘン楽器(株)でエコアクション 21 認証取得
- 2011 PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO14001 認証取得
CS 環境室に名称変更
- 2012 カワイ精密金属(株)でエコアクション 21 認証取得
河合楽器(寧波)有限公司で ISO14001 認証取得

東日本大震災の被災地への継続的支援活動

～被災地にピアノを届けたい～

カワイグループでは、東日本大震災以降、楽器メーカーとして音楽や楽器を通じて、被災地の方々への継続的な支援活動に取り組んでまいりました。

カワイチャリティーコンサートの開催

2012年4月13日、歌手でピアニストの秦万里子さんと一般公募で集まったコーラス隊が出演するカワイチャリティーコンサートを開催しました。コンサートの趣旨に賛同された多くの方々からのコンサートの収益金と募金は、浜松市が支援を続けている岩手県大船渡の学校へピアノを贈るために使われました。



岩手県大船渡市立大船渡北小学校への寄贈

2012年7月23日、岩手県大船渡市立大船渡北小学校にチャリティーコンサートに関わった皆様の想いととも、グランドピアノ『RX-2』をお届けしました。



宮城県気仙沼市立鹿折小学校への寄贈

チャリティーコンサート募金の他に、(株)カワイハイパーウッドが開催した「ふれあいコンサート」、カワイ音楽教室久留米が開催したカワイドリマートンコンサート「ドリーム・ノーツ」で集まった募金を加えアップライトピアノ『K-3』に換え、2012年11月26日に宮城県気仙沼市立鹿折(ししおり)小学校に寄贈しました。5年生の児童から「あの震災のときは、学校にいくとながされ何もなかったときに鹿折小学校に寄付してもらい、みんなよろこんでいます。」という感謝のお手紙をいただきました。



秦万里子さんのスマイル募金『被災地にピアノを送ろう』プロジェクトへの支援活動

スマイル募金『被災地にピアノを送ろう』プロジェクトは、秦万里子さんが中心となって立ち上げた、東日本大震災の被災地の教育施設などにピアノを贈る活動です。

カワイではこのプロジェクトに全面協力し、カワイの調律師が弾かれなくなったピアノの状態を調べ調整したり、カワイの再生ピアノの提供やコンサート会場での募金活動を行いました。

環境報告

カワイの環境への取り組み

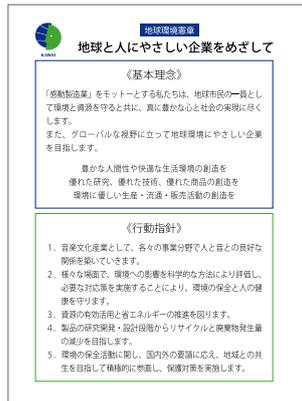
カワイ地球環境憲章に定める基本理念と行動指針に基づいて環境保全活動を展開しています

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織

地球環境憲章

カワイグループは、素晴らしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。



環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp>

環境推進組織

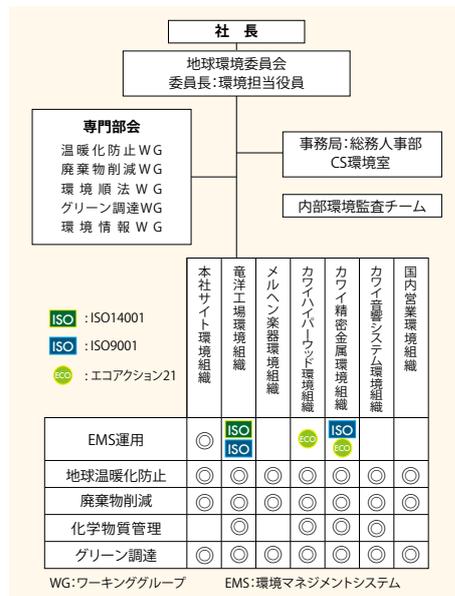
環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目的・目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月には各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。

環境監査

カワイでは、環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

外部審査

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベランス審査および定期毎の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。



環境マネジメントシステム (EMS)

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくシステム。国際規格のISO14001、環境省が策定したエコアクション21などがあります。

河合楽器(寧波)有限公司でISO14001認証取得

カワイグループは業界に先駆けて1997年にいち早く竜洋工場に環境マネジメントシステムISO14001を導入して以来、海外生産拠点を含むグループ全体に環境マネジメントシステムの導入を推進しています。2011年にPT.カワイインドネシアでISO14001認証取得したのに続き、2012年9月には中国浙江省の河合楽器(寧波)有限公司においてもISO14001認証を取得しました。



CO₂ 排出量・廃棄物排出量の削減に取り組んでいます

2012 年度の環境目標と実績

2010 年度から 2012 年度の 3 ヶ年計画・目標

地球温暖化防止を重点課題と考え、CO₂ 排出量の削減に全社で取り組んでいます。

2007 年度から 2009 年度までの 3 ヶ年計画では総量で 2006 年度比 -15% の削減目標に対し -19% と目標を達成できました。その実績を踏まえて、2010 年度から 2012 年度の 3 ヶ年計画を地球環境委員会で検討した結果、改正省エネ法の努力義務目標を考慮して 2010 年度からの 3 ヶ年で 2009 年度基準で毎年、原単位で 1% 削減することを環境目標と設定しました。

環境目標 (2010 年度～ 2012 年度) 基準年：2009 年度		
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	毎年 1%削減 (原単位)
資源の循環活用	廃棄物量	毎年 1%削減 (原単位)

2012 年度の実績

各事業所の環境組織では活動の主な目的・目標として「生産効率の向上」「不良率の削減」を掲げて環境マネジメントシステムの推進に取り組んでまいりました。

2012 年度の実績は CO₂ 排出量は原単位で 2009 年度比 -5.4% と目標値 (-3%) を達成できましたが、廃棄物に関しては原単位で +3.9% と増加し、目標値 (-3%) を達成できませんでした。

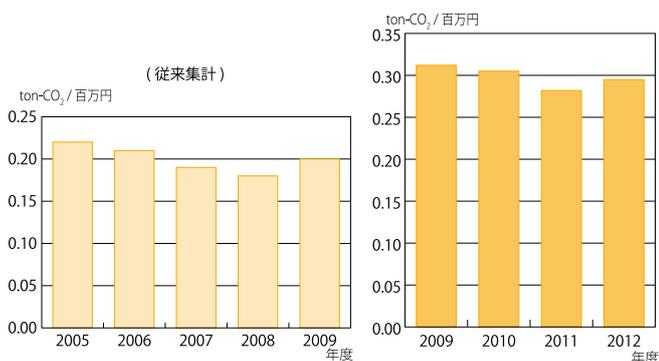
指 標	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度			
	実 績	実 績	実 績	実 績	増 減		
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	312	305	282	295	-5.4	◎
	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	6,482	6,328	5,911	6,157	-5.0	◎
資源有効活用	廃棄物排出量 (総量) (ton)	1,005	1,148	1,112	1,018	+1.3	
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	17.9	19.6	19.2	18.6	+3.9	×

評価 ◎：達成 ×：未達成

環境経営指標

CO₂ 排出量の集計につきましては、2009 年度までカワイグループ内の国内生産拠点および主要支社の CO₂ 排出量を集計し、全売上高で除した指標 (原単位) を用いてきましたが、2010 年度からは改正省エネ法に対応するために国内生産拠点および全ての支社・営業所・音楽教室を含めたカワイグループ全体の CO₂ 排出量を集計して、原単位を算出しております。

CO₂ 排出量原単位
(省エネ法準拠の集計)



また、産業廃棄物の排出量に関して、2009 年度に対しては 1.3% 増加しました。

これは、生産合理化に伴う部品外注製造工程の構内への移設等の影響によるものであり、今後の取組みの重点課題として検討を進めてまいります。

産業廃棄物排出量



CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み (CO₂ 排出量削減)

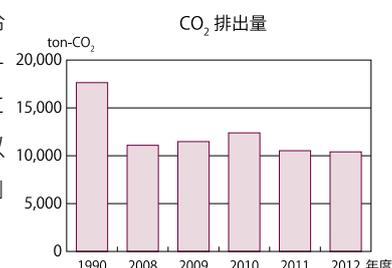
カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用による CO₂ の排出や物流による CO₂ の排出の削減を目的・目標に掲げ活動しています。

工場の統廃合により、生産系事業所の CO₂ 排出量は京都議定書の基準年である 1990 年度に比べて 41% 削減されており、京都議定書の日本の目標値 6% 削減に対してカワイグループは大幅な削減を達成しています。

なお、1990 年当時の支社・営業所・音楽教室を含む CO₂ 排出量の推定を行っており、この場合、1990 年比約 23% の削減と推定しております。

また、カワイグループの工場では、ピアノ製造の竜洋工場と金属加工のカワイ精密金属(株)松本工場の 2 工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定され、自主的に CO₂ 削減計画を策定し、CO₂ 削減に取り組んでいます。

オフィスにおいては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を 20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。



CO₂ の吸収活動 (植林活動) の推進

「森の中の緑の工房」竜洋工場

カワイは、1980 年に「森の中の緑の工房」を目指して竜洋工場を建設しました。当初、工場周辺や構内に植えた約 20,000 本の苗木とその後の植林も含めて、現在では約 26,000 本の規模となり、グラウンドを含めると工場敷地の約 50% が緑地となっています。30 年の歳月を経て「森の中の緑の工房」の名に相応しい工場となりました。なお、2005 年にはこの活動が評価され、緑化優良工場として (一財) 日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。

海外植林活動

2007 年より海外生産拠点のあるインドネシアにおいて、CO₂ 吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、将来の木材資源の育成を目指してカワイグループ社員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。5 年間 (5 次植林) で 250ha、20 万本を植樹する計画ではじめました。2012 年度には第 5 次植林として 25ha に 48,500 本のチークの苗木を植え、これまでの累計で 250ha の土地 (東京ドーム約 53 個分) に約 28 万本植林し、22 万本の苗木が成長を続けています。インドネシア「カワイの森」の当初計画の達成により、年間 3,667 トンの CO₂ を吸収できると試算しています。

環境配慮型のショップ、音楽教室づくり

カワイ梅田ではショールーム、サロンのスポット型、直管形などの全照明やレッスン室に LED 照明を採用し、電気使用量を 36% (3-4 月、前年比) 削減しました。

また、2012 年 9 月 15 日にグランドオープンしたカワイ千葉でも LED 照明を採用し、環境配慮型のショップづくりを進めています。



カワイ梅田



カワイ千葉



主な製品の環境負荷の評価と夏の節電活動

製品の環境負荷（LCA）

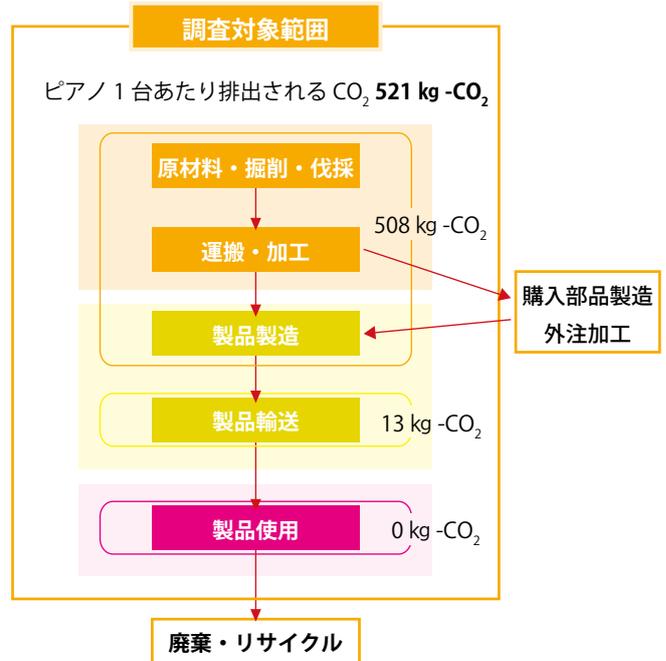
製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出されるCO₂量及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出されるCO₂の量をカワイの主な製品のグランドピアノ（RX-3）について行なった結果、次のとおりとなりました。

ピアノは、一般の電化製品、自動車と異なり製品の使用時に排出されるCO₂はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までのCO₂排出量が製品寿命の総CO₂排出量と考えることが出来ます。

LCA：Life Cycle Assessment の略。製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法

LCA 評価方法

- * LCA 算定には、社団法人 産業環境管理協会のライフサイクルアセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。
- * 製品の廃棄について
ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。
- * 購入部品及び外注先での加工製造・輸送については含まれていません。
- * 製品輸送は磐田市（竜洋工場）→東京間を用いています。



夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。2011 年度は、節電目標を前年比 15%削減とし、カワイグループ全体の電力使用量の実績で 11%の削減を達成しました。

夏の節電活動が 3 年目となる 2013 年度も、目標『前年比マイナス 5%』の目標をかかげ、節電活動に取り組んでいます。



資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物削減の取り組み

廃棄物の削減と徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し、活動しています。

2003年度には、大気汚染の防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に木屑ボイラーを廃止したため、それまで燃料としてサーマルリサイクルされていた木屑や木粉が廃棄物扱いとなったことにより、廃棄物排出量が大幅に増加しました。その後の歩留向上などの取り組みにより廃棄物排出量を削減してまいりました。

2012年は前年比8.5%の削減を達成しました。また、木屑等は全て再資源化（製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用他）しており、その他のフェルトなどは堆肥化するなど環境負荷の低減に役立つよう再資源化の取り組みを行なっています。

その結果、2012年度は、再資源化率を95%（前年比+6%）に向上させることができました。今後も廃棄物の再利用、再資源化を検討し、再資源化率の向上を目指します。



年度	2008	2009	2010	2011	2012
排出量	ton 1,194	1,004	1,139	1,112	1,018
再資源化量	ton 1,043	898	1,037	986	967
再資源化率	% 87%	89%	91%	89%	95%



竜洋工場からの
廃棄物の再利用

リサイクル・リユースの取り組み

生産者拡大責任を踏まえて、循環型社会のためのピアノの再生利用を推進するために(株)ピアノリサイクルを1998年に設立しました。現在では竜洋工場仕上課が本事業を担当しています。

メーカーによるピアノ再生

メーカーだから出来る仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり80年を超える製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から喜ばれています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。

日本国内では各営業拠点においても、下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。2012年度には約1,100台のピアノが再生・リユースされました。そのうち約3割が輸出され世界の各地で使われています。

ピアノにおけるリサイクル・リユースの取り組み状況



持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にグループ全体で積極的に取り組んでいます。



グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク (GPN) の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

次のようなライフサイクルにおける環境への配慮に関する事項を調達基準として考慮しています。

- 環境汚染物質への配慮 / 省資源 / 省エネルギー
- 天然資源への配慮 / 長期使用性 / リユース可能性
- リサイクル可能性 / 再生材料等の利用
- 処理処分の容易性

またサプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対し対応をお願いしています。

- 環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- 省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること
- 梱包材についても環境に配慮していること
- 環境情報を積極的に公開していること

グリーン調達に関しては、このほかに調達基本方針や適用範囲、調達基準ガイドライン等を定めています。

またこのガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定しています。

木材調達

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選されたアラスカのspruceが使われます。樹齢 150 ~ 400 年、高さが 60m にも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上 6 ~ 20m の部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質、貴重な木材を多く使用する楽器メーカーとして、木材を生み出す森林の保全、保護、育成は特に重要と考え生物多様性の保全に配慮して木材のグリーン調達に取り組んでいます。



木材調達ガイドライン (2006年6月開示)

2006年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切に、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。

環境に配慮したピアノ

ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵

ピアノの鍵盤の素材は、白鍵には象牙、黒鍵には黒檀が最良とされ、古くから使われてきました。しかし1980年代に入ると野生動植物の保護意識が世界的に高まり、代替素材が求められるようになりました。カワイは他に先駆けて、植物性樹脂を主原料とする、まったく新しい独自の鍵盤素材を1988年に開発しました。それが、数々の優れた特長、機能を持つ“ファインアイボリー”(人工象牙)と“ファインエボニー”(人

工黒檀)です。ピアニストからの評価は時とともに高まり、現在では新時代の鍵盤素材として高い評価が定着しています。



ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵を搭載したグランドピアノの新シリーズ

■フラッグシップモデル「Shigeru Kawai シリーズ」

カワイは、創業者の河合小市が1927年に浜松でピアノ製造を始め、世界一のピアノづくりを目指して、グランドピアノ製造をつづけてまいりました。その集大成といえる、1999年発売のShigeru Kawai グランドピアノは、今では世界各地のピアニストや音楽大学などから愛用されています。

新しい「Shigeru Kawai シリーズ」は、ピアノという楽器の革新を目指して世に送り出す、これまで培ってきたピアノづくりの伝統とカワイピアノの製造技術の粋を集めたグランドピアノのフラッグシップモデルです。



■伝統と革新の融合から生まれた、グランドピアノの新・世界基準「GX シリーズ」

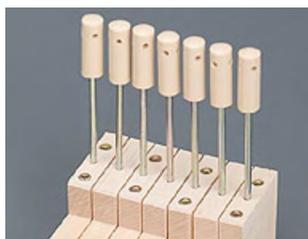
カワイグランドピアノの主力モデルであり、ビギナーからプロのピアニストまで幅広い音楽ニーズに的確に応え続け、数多くのユーザーから愛用されているRXシリーズで培った抜群の安定感にShigeru Kawai グランドピアノに採用した新技術を惜しみなく注ぎ込み、究極のスタンダードを目指して1クラス上のタッチと音を実現した、まさに次世代のグランドピアノです。



業界ではじめて鍵盤鉛を廃止した環境にやさしい設計アップライトピアノ Kシリーズ

鍵盤に埋め込む錘に、Kシリーズでは環境に配慮して鉛を廃止し、リサイクルが容易な鉄を採用しました。鉛に比べ技術的に固定が難しい鉄の使用は、カワイのすぐれた金属加工技術によって生まれた新たな形状(特許出願中)や、埋め込む位置の工夫など、独自の新技术により可能になりました。さらに鉛より比重が軽い鉄を使用したにも関わらず、金属量を減らすことにも成功しました。

(2006年発売)



環境配慮型アコースティックピアノ

Hybrid ANYTIME X

ANYTIME シリーズは、夜間など音を出せないときに、デジタル音源に切り替えて、ヘッドホンで演奏を楽しむことができる環境配慮型アコースティックピアノです。“ANYTIME X”は、ハンマーの動きを検出する新センサー「インテグレートッドハンマーセンシングシステム (IHSS)」を採用し、消音時においても、通常時と変わらない鍵盤のタッチ感を実現しました。“ANYTIME X-f”は響板スピーカーを搭載し、ヘッドホンを使用しなくても音量調節が可能です。



医療・研究・産業用防音ルーム 『サイエンスナサールFSS』

カワイの防音ルームは、産業用途向けに「サイエンスナサール」をラインナップしています。

サイエンスナサール『FSS (Dr-45)』は、カワイの技術を最大限に駆使し、従来のサイエンスナサールよりさらに高い遮音性能を持った不燃仕様の防音ルームで2013年1月29日に

発売しました。聴力検査室や実験室など、より精密なデータが必要とする医療機関でも活躍できる性能を持ち、新しく高性能遮音パネルを開発したことにより、遮音性能をDr-45へとランクアップすることができました。

- ・パネル組立方式のため短工期(最短1日)
- ・移設対応可能
- ・充実の10サイズ×2性能

パネル組立方式採用

- ・鋼製複合遮音パネル
- ・不燃認定内装材
- ・内装制限適用区域内への設置可能

信頼の遮音性能音環境

- ・ワンランク上に近い余裕の遮音性能
- ・本格的グレモンハンドル仕様の防音ドア
- ・天井にはグラスウール吸音板標準装備

不燃対応

充実のオプション対応

- ・「シールドルーム」仕様対応オプション
- ・コネクターボックス
- ・響きを調整する吸音パネル
- ・室内観察用のFIX窓パネル

【製品の特徴】

遮音性能 Dr-45 を 1 重壁で実現

遮音性能 Dr-45 を 2 重壁から 1 重壁で実現し、より使いやすく、心地よい空間をご提供します。

聴力検査室仕様に対応

より高い遮音性能が求められる医療機関向けの聴力検査室にも対応可能。

6 種類の豊富なサイズバリエーションをご用意

標準サイズは 1.5 畳～ 4.0 畳までの 0.5 畳刻みの合計 6 種類のサイズバリエーションをご用意。

カワイならではの特注仕様対応

6 種類の標準サイズ以外にも設置場所に合わせた特注サイズ、柱変形加工など柔軟に対応し、無駄の無い空間をご提供できます。



【用途例】

研究測定検査室



オペレータールーム・製造ライン作業室



製造ライン作業室



株式会社 カワイ音響システム

〒 435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 358
tel:053(489)7601 fax:053(489)7608 www.kawai-os.co.jp/

環境に配慮したデジタルピアノ

省電力型デジタルピアノ CA シリーズ、CN シリーズ

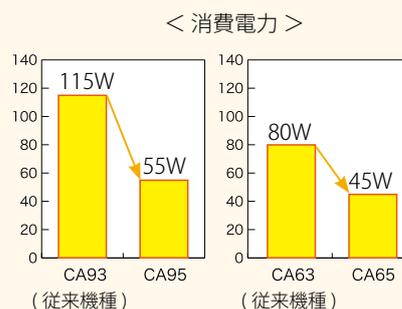
2012年に発売された省電力型デジタルピアノは、デジタルアンプの採用など、システム全体を見直すことにより『CA95』では約50%、『CA65』は約45%、『CN24』は約60%、『CN34』

は約35%(いずれも当社従来機種比)の省電力化を実現しました。オートパワーオフ機能も搭載したことによる省エネをも実現した環境に優しいデジタルピアノです。



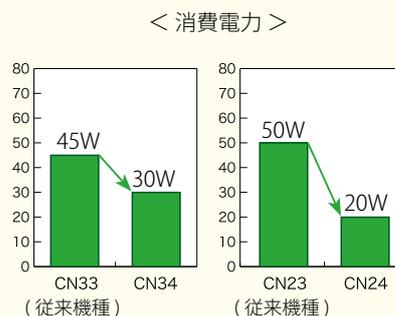
目指したのはグランドピアノの性能 Concert Artist シリーズ『CA95』『CA65』

"Concert Artist" シリーズは、その名のとおりアーティストが使用するコンサートグランドピアノを目標として開発したカワイデジタルピアノのトップブランドです。



表現力を大幅に向上したデジタルピアノ 『CN34』『CN24』

入門者向けのデジタルピアノ「CN シリーズ」は、ピアノとしての充実した基本性能を兼ね備えながらも、お求めやすい価格を実現しました。

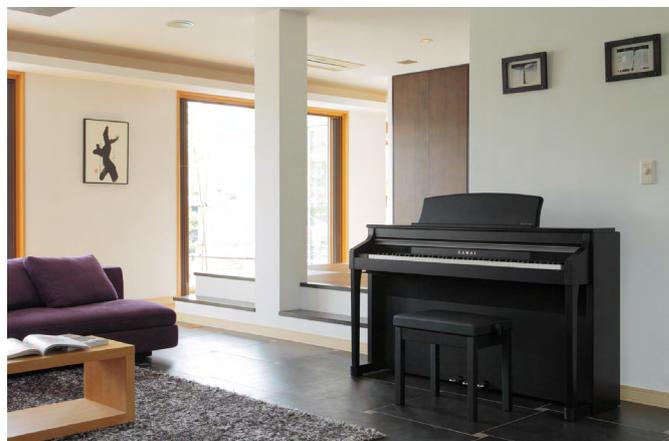


グッドデザイン賞受賞

カワイデジタルピアノ『CA95』

デジタルピアノ『CA95』は、革新的な新木製鍵盤機構『グランド・フィール・アクション』の搭載により自然なタッチ感を実現、質の高い演奏や練習が可能になりました。新音源『HI-XL 音源』の搭載により時間とともに変化していく音色を忠実に再現、グランドピアノの特長を実現させました。また、外観のデザインは、まるでグランドピアノの前に座っているかのような、よりピアノらしいデザインになっています。

「コンパクト、省スペースでありながら、さもグランドピアノのような音質と演奏時の雰囲気をつくりあげる」と評価されました。



環境パフォーマンス

企業活動による環境負荷を数値で把握することが環境活動の第一歩と
考えています

マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷

についてデータ集計を行なっております。

2012年度におけるエネルギー、化学物質、資源などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後もデータ把握の対象を広げ環境負荷の低減に取り組みます。

INPUT

エネルギー (GJ)	
総計	185,475
電力	153,524
A重油	25,821
LPG	1,175
灯油	4,955

水 (千m ³)	
総計	262
井水	87
水道水	119
工業用水	56

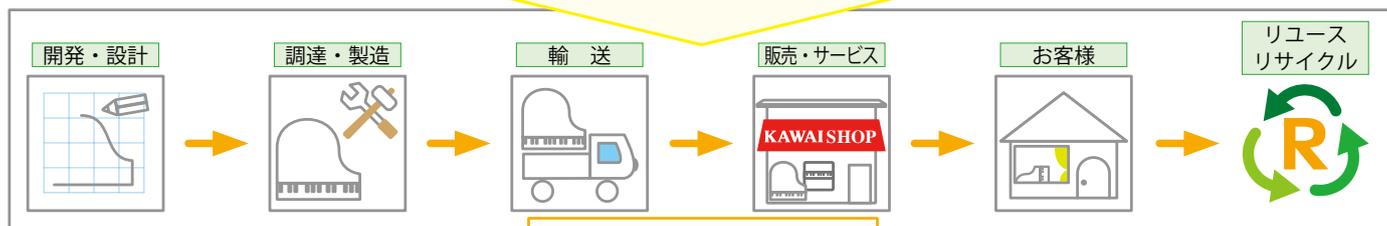
化学物質 (ton)	
総計	105

容器包装 (kg)	
紙	5,285
プラスチック	6,538

エネルギー (GJ)	
電力	0

ピアノの演奏は人力のため、使用段階でのエネルギーは0と評価しました。また、電子ピアノ・オルガンについては演奏時間等の設定が困難なため、対象から外しました。

燃料 (GJ)	
ガソリン	623
軽油	3,079



OUTPUT

温室効果ガス (ton-CO ₂)	
CO ₂	10,407

排水 (千m ³)	
総計	210

化学物質 (ton)	
排出量	39
移動量	7

廃棄物 (ton)	
総排出量	1,018
焼却・埋立	51
再資源化	967

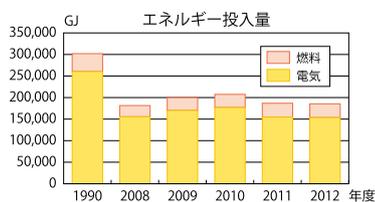
容器包装 (kg)	
総計	1,311

温室効果ガス (ton-CO ₂)	
CO ₂	0

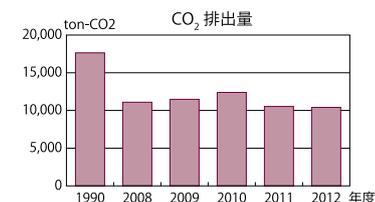
アコースティックピアノの使用段階における排出は0と推定しました。また、電子楽器についてはINPUT同様の考えから対象から外しました。

温室効果ガス (ton-CO ₂)	
CO ₂	363

INPUT



OUTPUT



社会性報告

経営計画

第4次中期経営計画（2013年度～2015年度）の概要

第4次中期経営計画

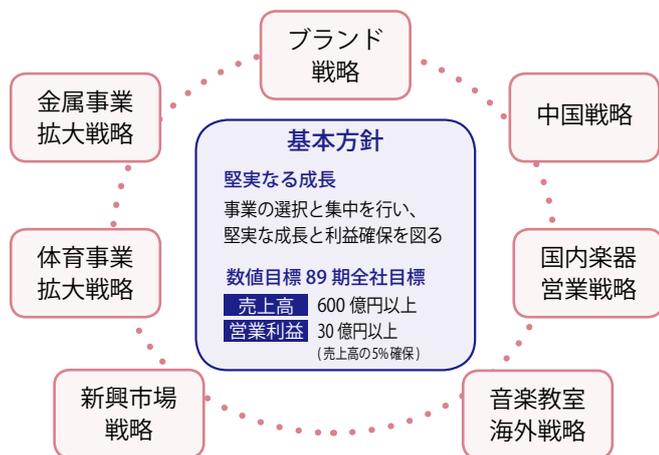
2013年4月より第4次中期経営計画（～2016年3月）をスタートさせました。当計画では、将来を見据えた事業基盤づくりを行うとともに、持続的成長のための構造改革に取り組んでまいります。

将来ビジョン

世界の音楽文化創造の担い手としての責任と誇りを持ち、堅実な成長と発展を目指す

- グローバルブランドを確立する
- お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る
- 音楽文化の普及に貢献する
- 収益性を高め継続的な発展を目指す

基本方針と成長戦略



ブランド戦略 ～グローバルブランドの確立～

- Shigeru Kawai への重点投資
- 音楽文化の普及への貢献

中国戦略 ～中国市場で三位一体体制を確立～

- カワイ専門店を都市部を中心に展開
- 音楽教室の本格展開
- アフターサービス網の構築
- 主要音楽大学との連携によるカワイブランドの定着

国内楽器営業戦略 ～国内市場の効率的販売体制の構築～

- 販売体制再編と強化
- 市場ニーズに即した魅力ある教室展開
- 新しい営業スタイルの導入

音楽教室海外戦略 ～カワイ音楽教室をアジアで本格展開～

- インドネシアに直営教室を開設
- インドネシアのビジネスモデルをアジア各国に展開

新興市場戦略 ～市場に即した販売活動を展開～

- モスクワに販売会社を設立
- 中南米市場の拡大開拓
- 世界戦略モデルを投入

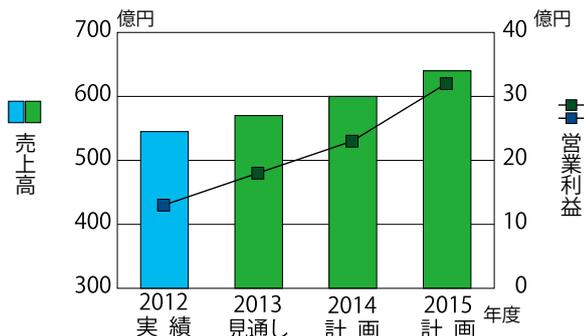
体育事業拡大戦略 ～体育教室の多角的展開～

- 教室事業の拡大
- 健康増進事業の拡大

金属事業拡大戦略 ～CVT向け材料加工分野で世界No.1へ～

- CVT向け受注の拡大
- 生産体制の強化
- 半導体・CVTに次ぐ第3の柱の構築

業績目標（売上高と営業利益）



第4次中期経営計画

第4次中期経営計画の説明資料は左の画像をクリックすることでご覧いただけます。

https://www.kawai.co.jp/ir/setsumei_pdf/2013/20130328_2014chukei.pdf

継続的に企業価値を高めていくにはコーポレート・ガバナンスの充実が最も重要な経営課題と捉えています

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社は、継続的に企業価値を高めていくうえで、コーポレート・ガバナンスの充実を最も重要な経営課題としてとらえており、そのためには株主・投資家の皆様、お客様、取引先、地域社会、従業員等の当社を取り巻く様々なステークホルダーから信頼される経営姿勢が重要であると考えております。

その実現に向け、当社では株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、経営体制の改革、内部統制システムやコンプライアンス体制の整備等の様々な方策を実現させるとともに、タイムリーな情報開示により公正で透明性の高い経営体制の実現を目指しております。

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このような事からカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。

具体的には法令遵守に加え社会的な規範を包含したカワイ倫理規範、倫理行動規準を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しております。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めております。

内部統制システムに関する基本的な考え方

当社では「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

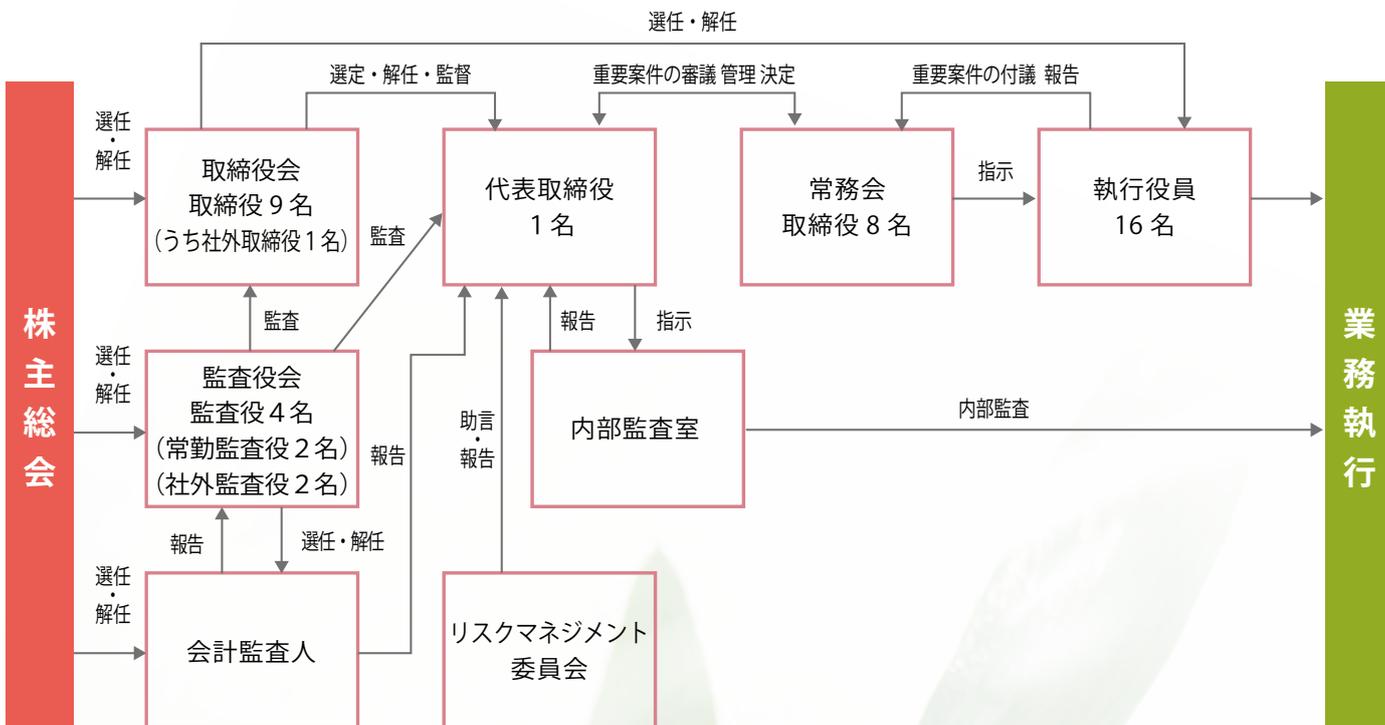
内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレートガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでおります。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観

点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めております。

コーポレートガバナンス体制・内部統制システム



- ・取締役会：9名で構成（社外取締役は1名）
- ・監査役会：社外監査役2名を含む4名で構成
- ・2002年4月より執行役員制度を採用（現在16名）
- ・2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を1名選任しており、社外取締役には、客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めております。

- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社の見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。

株主・投資家の皆様とともに

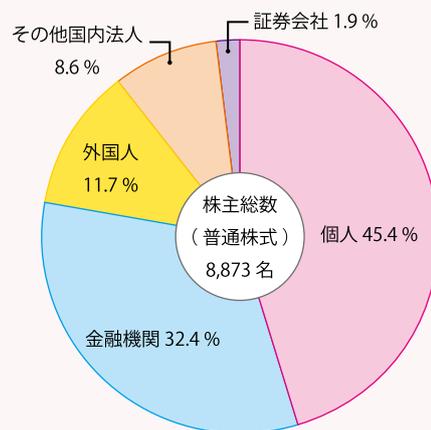
株主・投資家の皆様へのIR活動に取り組んでいます

決算説明会

2013年5月29日、東京日本証券アナリスト協会にて、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催いたしました。連結業績の概要を説明するとともに、2013年4月より始まっている第4次中期経営計画の進捗についての説明を行い、カワイの事業展開について、ご理解いただきました。

同説明会で使用した資料は、ホームページにて公開しております。下記画像をクリックしてご覧ください。

株式の発行状況と所有者別状況 (2013年3月31日現在)



発行可能株式総数	普通株式	342百万株
発行済株式総数	普通株式	85百万株

定時株主総会

2013年6月27日、カワイ本社にて第86期定時株主総会を開催いたしました。事業報告において、プロジェクトとナレーションによる説明を採り入れ、グラフや写真を使ってわかりやすい説明に配慮いたしました。

当日お越しいただいた株主の皆様、カワイの業績や事業展開について、より深くご理解いただきました。

事業報告書

株主の皆様には、事業報告書を年2回お送りしています。直近の財務情報に加え、トップのコミットメントや当期のトピックス、会社概況などをお伝えしています。

IRサイト

IR：Investor Relationsの略。企業による投資家向けの情報提供などの広報活動。ステークホルダーの皆様にかワイの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動（IR活動）の手段としてカワイホームページにIRサイトを開設しています。
(<http://www.kawai.co.jp/ir/>)



お客様との関係

文化貢献活動

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動

や文化活動への支援を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

カワイ音楽振興会

日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立され、今年創立50周年を迎えました。この間、2,180回を超える「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。

これからも“Music for All”の理念のもと、以下のような多彩な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。

今年は、カワイ音楽振興会創立50周年記念コンサートとして若手ピアニスト中心のvol.1、中堅・ベテランピアニスト中心のvol.2の2回シリーズを予定しております。

カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>



カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をという理念のもとスタートした「カワイコンサート」は、発足以来、全国で2,180回（2013年3月末）の公演を行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いて、全国各地の皆さんに良い音楽との触れ合いを楽しんでいただいています。2012年のカワイコンサートは、ドビュッシー生誕150年を記念して、どの会場でもドビュッシーの作品をとり上げました。



ヨーロッパ・カワイコンサート

1976年設立のカワイドイツランド GmbH を経て1979年に設立されたカワイヨーロッパ GmbH は、欧州におけるカワイの重要な拠点になっています。1990年にデュッセルドルフから北西方向25 kmのクレフェルト市に移転して以来、1991年に始まったヨーロッパ・カワイコンサートはクレフェルト市「カンプスホール」で行われています。

これまで200回以上のコンサートを開催しております。また、著名ピアニストを招聘してピアノマスタークラスを主催するなど、様々な文化事業を行ってきました。さらに、浜松市とクレフェルト市との文化交流においても支援を行なっております。



カワイ音楽振興会の支援活動

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、ショパン生誕 150 年にあたる 1960 年、ポーランドのショパン協会との交流のもとに設立。「フレデリック・ショパン協会国際連盟」の会員として、世界各国のショパン協会と相互連携を保ちながら活動しています。

音楽交流、ショパン国際ピアノコンクールへの審査員派遣、参加者オーディションなどの活動を行ってきました。

また年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈。毎年数回、ショパン作品を中心としたリサイタル・講座を開催しています。

<http://chopin-society-japan.com/>



クロイツァー記念会への支援

ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により 1962 年設立。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。1971 年より、クロイツァー教授の功績を記念して「クロイツァー賞」を制定。教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」のほか、ゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞金を贈呈。

またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を 1976 年（昭和 51 年）より毎年開催するほか、特別演奏会や出版活動を行なっています。

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



クロイツァー記念会

Leonid Kreutzer

日本・ロシア音楽家協会への支援



1984 年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長故芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足。その後、ソ連の崩壊により「日本・

ロシア音楽家協会」と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入る。ロシアとの文化交流コンサートを開催すると同時に、声楽・器楽のコンサートや公開レッスン、公開講座、シンポジウムなど開催しています。<http://japan-russia-sfm.net/>



日本シマノフスキ協会への支援

カロル・シマノフスキは、ショパンとともにポーランドを代表する作曲家です。1981 年、彼の生誕 100 年を記念して設立。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、公開講座、例会等のコンサートを開催しています。



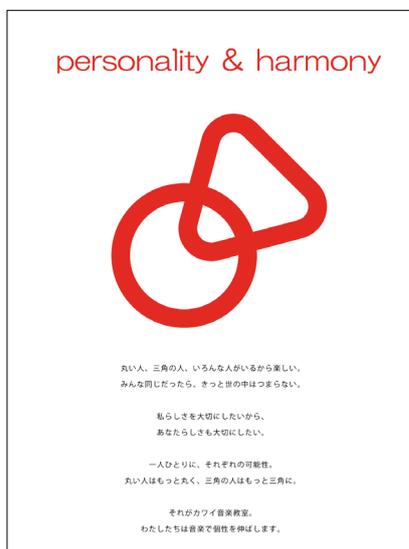
日本フーゴ・ヴォルフ協会への支援

ドイツ歌曲の偉大な作曲家フーゴ・ヴォルフの作品をより多くの音楽ファンに知ってもらうため、1963 年に設立。

例会・研究会活動のほか、ヴォルフに関する資料・楽譜の収集、公開などに積極的に取り組んでいます。

人間の本来のあるべき姿、人間的豊かさの育みを第一に考えるカワイの 教育事業は各種教室事業や教育者育成事業を展開しています

教育事業 カワイ音楽教室では、「個」そしてその「表現」を大切にします。



カワイ音楽教室は、創立以来「音楽を身につける過程で、個々の持つ様々な能力や可能性が見いだされ、発揮されること」「音楽を学ぶことでこそ得られる人格的なふくよかさや、奥深く幅広い豊かな人格形成を求めること」「技術的な進歩だけに偏らない、真に芸術的な感性と人間的魅力に溢れた新しい日本の文化人を育成すること」等を中心的目標として掲げ、50年間に渡って、日本中に音楽芸術を愛好する多くの豊かな人々を育ててまいりました。これらカワイ音楽教室が掲げてきた創立当初からの理念は、現在の日本が改めて見直しは始めている「人間教育」の根本的な礎となる「人間のあるべき姿」への一貫した思想です。

カワイ音楽教室

当社が運営するカワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年(昭和31年)に第1号教室を開設、以来50年にわたり、音楽教育を通じて多数の音楽愛好者を育成し、現在では日本全国に4,000を超える直営の教室を運営しています。レッスンコースは、1歳児を対象とした「クーちゃんランド」に始まり「おとなのミュージックスクール」まで、年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定されています。



カワイ英語教室

カワイ英語教室は、ゲームやアクションを通して、子どもたちが楽しみながら「生きた英語」を身に付けます。そしてコミュニケーションの手段としての英語を通して自分を伝えたい、相手を知りたいという心を満たし、豊かな人間性を育みます。

カワイミュージックスクール

personality & harmony KAWAI MUSIC SCHOOL

平均寿命の伸長に伴い、中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、大正琴、日本唱歌など、40種以上に及ぶ大人のための音楽教室を運営しています。いずれも自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講でき、またレッスンの回数や形式が選択できるなど、個性に合ったレッスンが受けられることから、多くの受講者を集めています。



カワイ絵画造形教室

カワイ絵画造形教室は、豊富な素材をふんだんに使ったさまざまな造形表現活動を通して、子どもたちが創造力や人間らしい心を育みながら「生きる力」を身につけていくことを目指しています。

心とからだのハーモニーをモットーに全年齢層の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。

カワイ体育教室開設以来45年のキャリアを持つカワイならではのノウハウを生かし子どもから、大人、高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートしています。



体育コース

子どもの遊びは、からだの面、こころの面、知的な面を育てるために大切なものです。しかし近年、遊びの中で知恵を出し合ったり、感情をぶつけ合う機会が減少していると言われます。カワイ体育教室はこのような子どもたちが、のびのびとからだを動かして遊ぶための環境づくりをサポートいたします。



スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。



特定保健指導の支援

厚生労働省が医療費削減対策として特定保健指導を義務化する中で、国のプログラムに合わせた支援を行っています。



介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿って運動器の機能向上を支援します。介護予防運動指導員養成セミナーを行い、指導者の育成を行っています。介護保険法の改訂により多くの市町村で地域支援事業として介護予防への取り組みが強化されています。カワイは1次予防や2次予防を対象とした介護予防事業の支援をいたします。

カワイネットシステム

ネットパル

体育教室と家庭をモバイルを使ってリアルタイムに結び「危機管理体制の充実」「運動の習慣化（生徒の日常の運動をサポート）」「家族の健康づくり」を実現します。

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理をサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。

カワイの認知症予防プログラム ～運動・音楽・脳げんき～

- 準備運動・ストレッチ
- ウォーキングプログラム ～認知症予防～
- ハンドゲーム
- コミュニケーションプログラム
- 音楽・造形・脳トレ教材
- 知的活動

有酸素運動、対人接納、お手玉、折り紙、クラフト等の製作、脳トレ教材、ボイストレーニング、認知症の予防、高齢者を対象にした認知症の予防、認知症を予防に働きかけ、発声を良くする、聴きかた、楽しいおまかせ



スポーツコミュニティ

カワイ体育教室はトップアスリートと交流する場を提供する「スポーツコミュニティ」を展開しています。

カワイ体育教室では、全年齢の健康を考える『総合健康産業』として、子どもから大人・高齢者までさまざまなステージでの健康づくりに関わっています。これまでは、カワイ体育教室に参加する生徒を対象とした活動が中心でしたが、

今後は多くの子供たちにトップアスリートの生の声や演技を伝えることで運動への興味関心とスポーツへの参加意欲を高め、運動習慣を獲得して生涯スポーツへとつなげる活動を展開していきます。将来的には、公的な施設等にも活動の場を広げ、より多くの子供たちがトップアスリートと接する機会がもてるよう展開していきます。



<カワイ体育教室 スタッフ紹介>

チーフアドバイザー 水鳥寿思さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストで、2012年5月に現役を引退し、カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラスチーフインストラクター 川本ゆかりさん

バルセロナオリンピック出場。2009年よりカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。



カワイカップ

器械体操・新体操・サッカーの全国大会です。年に一度全国の仲間とコミュニケーションを図り、楽しくしかし真剣に子供たちが自分の実力を試す場となっています。



地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

地域社会との共生

工場見学の受け入れ

地域の小学生・中学生・高校生や次世代の音楽文化を担う学生さんたち、その他多くの皆様にカワイピアノに親しんでいただくために竜洋工場では工場見学を受け入れています。カワイピアノが完成するまでの組立から仕上げの工程をご覧くださいことができます。

また、竜洋工場内のピアノ歴史資料室には復元した歴史的な楽器が展示されており、実際に弾いてその当時の音色を楽しむこともできます。

〔工場のご見学に関するお問い合わせ〕

竜洋工場 業務室 静岡県磐田市飛平松 252
TEL.0538-66-5111 FAX.0538-66-5919

2012年度の見学者数は、2,659名でした。小学生をはじめ、多くの方々から見学後にあたたかい感想文のつづりを送っていただきました。



見学者から頂いたお手紙

ピアノ歴史資料室



■ エコキャップ運動

2008年より行っているエコキャップ運動はペットボトルキャップのリサイクル活用により、CO₂の発生を抑制すると同時に、貧困に苦しむ世界の子供たちにポリオワクチンを提供することができます。2013年3月までの回収でCO₂排出量1,337kg-CO₂の抑制とワクチン215人分を提供することができました。(本社)



↑カワイキャスティング

■ 環境美化・保全活動

地域社会とのつながりを大切にしたいと考え、環境方針に基づいた環境活動として敷地内のみならず、工場周辺の主要道路の清掃活動などを通じて地域の美化・環境保全に積極的に取り組んでいます。



← ↑ 竜洋工場

↓ 本 社



各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

インドネシアにおける植林活動

第5次植林をスタート、当初計画を達成

創立80周年記念事業の一環として2007年に開始した「カワイの森」植林活動は今年で7年目となりました。海外生産拠点のあるインドネシアにおいてCO₂吸収源の確保、将来の木材資源の育成を目的として、カワイグループ従業員により運営される「カワイの森育成会」、現地法人PT.カワイインドネシアおよびインドネシア森林公社(Perum Perhutani)とが協力して西ジャワ州カラワン県で植林活動を行っています。2013年1月にはPT.カワイインドネシア、森林公社ほか現地関係者により植林開始セレモニーを行い、第5次植林をスタートしました。これまでに累計で250ha、285,500本の植林を行い、当初計画の250ha、20万本を達成しました。



第5次植林開始セレモニー(2013.1月)

第4次植林の現在の様子

■ インドネシアの地元新聞で紹介されました

2013年1月30日付けの地元の新聞「Radar Karawang」紙に「カワイの森」植林活動が取り上げられました。植林によるCO₂吸収機能のほか、インドネシアで頻発している洪水防止のための水源涵養機能としても地元へ貢献していることが評価されています。



「Radar Karawang」紙提供
(2013年1月30日付)

地域との交流

■ PT.カワイインドネシア

従業員のコミュニケーション：カラワン工業団地(呼称:K1IC)のスポーツ大会で優秀な成績を収めました。



社会貢献活動



洪水時の救援活動

奨学金提供

献血

■ 河合楽器(寧波)有限公司



従業員のコミュニケーション
親睦(綱引き大会)

■ (株)カワイハイパーウッド

カワイハイパーウッドでは、毎年、地元住民の方をお招きし、工場内の特設会場でコンサートを開催しています。2012年で第7回目をむかえました。当日は、第一部でピアニストの岩崎洵奈さんによるクラシックコンサート、第二部では袴田京子カルテットのジャズ演奏、第三部は恒例の地元の中郡中学校・ブラスバンド部1・2年生の皆さんによる演奏を楽しみました。

当日は、多くの方々から東日本大震災の被災地域の小中学校へピアノを送る活動資金として多くの募金が集まりました。



■ その他国内事業所



カワイ精密金属(株) 浜松工場：献血活動

竜洋工場・カワイハイパーウッド：地域の中学校の
職場体験学習への協力

お客様に愛され、親しまれるカワイを目指して

情報発信

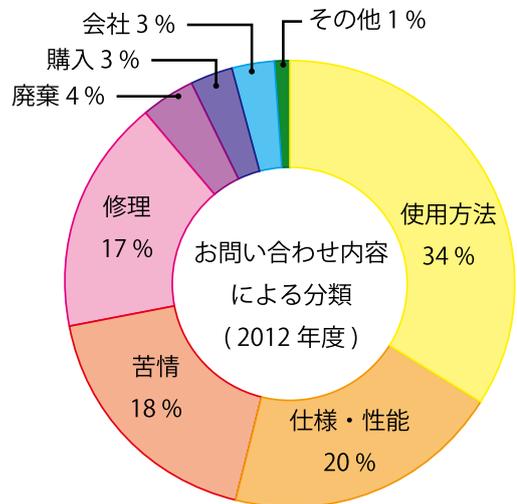
CS (顧客満足) への取り組み

楽器購入前のご相談、購入後の楽器のご使用方法に関するご相談等、お客様から寄せられる様々なご質問に誠実で迅速な対応を行うべく、お客様相談室で受付を行っております。音楽を愛する専門スタッフが皆様にとってかけがえのないパートナーを目指してサービスに努めております。

お客様相談室 TEL : 053-457-1311

受付時間:

月曜日から金曜日までの 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00



アフターサービスの実施

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をまともに受けてしまうのです。ピアノの大部分を占める木材やハンマーのフェルトは常に呼吸をしている、まさに“生命体”であり、ピアノは大変デリケートなメカニズムを持つ楽器でもあります。

そこで私達が健康管理をするようにピアノにも“調律”という名のメディカルチェックが必要なのです。カワイの調律師たちは厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

国内営業本部 調律サービス部 TEL : 053-457-1256

世界最大規模のアフターサービス網

約 240 名の調律師が直営ネットワーク (日本全国 105 拠点) に配置され、全国津々浦々のお客様の大切なピアノのアフターサービスに従事しています。全てカワイの社員です。入社後も、数々の技術研修制度により技術の研鑽に努め、お客様のご希望にお応えします。さらに、コンサート会場でのピアノ調律を担当する MPA* は、国内外のコンクールやコンサートの場面でアーティストのハイレベルなご要望にもお応えしております。

* MPA: Master Piano Artisan (マスターピアノアーティザン: 社内資格)

ピアノメンテナンスを通じた社会貢献

カワイは、ピアノの調律の啓発や技術の向上を目的とした団体である (一社) 日本ピアノ調律師協会 (通称ニッピ) の主旨に賛同し、その活動に協力しています。

日本ピアノ調律師協会は、ピアノを国民の芸術的財産として位置づけ、その運営管理を行なうことにより社会道徳的要請に応えるべく、会員資質の向上、調律技術者の社会的信用の維持向上に取り組んでいます。カワイでは調律技術者のほとんどがニッピの会員です。





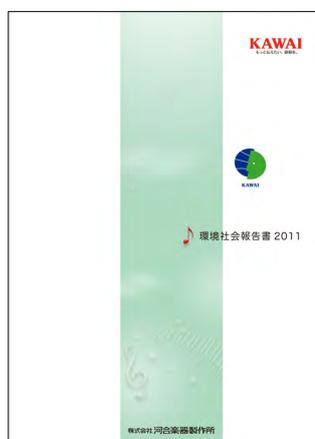
環境社会報告書のホームページによる開示

カワイのホームページのトップページの「会社情報」から、「環境への取り組み」に進んでいただきますと、過去の環境報告書もご覧いただけます。

<http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp>

環境社会報告書の継続的発行

カワイでは2001年より毎年、「環境報告書」を発行し、2004年からは社会的側面についても記載し、「環境社会報告書」を発行しています。多くの皆様に持続可能な社会の実現に向けたカワイの活動を知っていただくよう今後も情報提供を続けてまいります。



環境負荷サイト別一覧

			参 考		基準年					
			1990	2008	2009	2010	2011	2012	基準年比	
竜洋工場 静岡県磐田市 (旧舞阪工場を含む) 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡	INPUT	電気	GJ	101,341	61,328	57,359	58,134	56,822	58,667	2.3%
		燃料	GJ	28,253	16,447	17,501	18,688	17,354	17,220	-1.6%
		水	千㎡	3,330	35.9	36.0	39.0	38.5	37.0	2.9%
		化学物質	ton	0	47.0	26.3	42.6	35.7	39.0	48.4%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	4,576	4,429	3,973	3,819	3,894	-12.1%
		化学物質	ton	0	12.3	11.0	11.2	6.6	8.8	-19.8%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	50.4	26.0	33.7	24.7	7.8	-69.9%
		廃棄物 再資源化	ton	102	811.0	691.3	826	810.7	730.6	5.7%
(株)カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中郡町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	INPUT	電気	GJ	14,787	14,636	15,141	14,307	15,822	16,306	7.7%
		燃料	GJ	11	4,189	4,704	3,778	4,652	4,548	-3.3%
		水	千㎡	28.6	5.7	5.3	5.2	5.8	6.6	24.2%
		化学物質	ton		24.4	26.9	23.4	20.7	24.3	-9.6%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	1,111	1,170	921	1,052	1,066	-8.9%
		化学物質	ton		7.3	8.6	4.3	0.6	0.8	-91.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	58.9	44.9	36.2	55.1	0.2	-99.6%
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	63.7	77.3	31.9	57.8	144.1	86.4%
メルヘン楽器(株) 静岡県周智郡森町 事業内容：電子楽器製造 敷地面積：11,583㎡	INPUT	電気	GJ	3,914	2,949	2,210	2,201	847	908	-58.9%
		燃料	GJ	74.7	10.7	9.5	8.4	1.2	0.8	-91.1%
		水	千㎡	0.6	3.4	2.9	1.9	0.8	0.7	-75.6%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	223	165	124	101	39	41	-66.5%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton	7.3	3.0	1.6	0.0	1.6	1.0	-37.5%
		廃棄物 再資源化	ton	0	39.7	7.6	59.9	11.2	2.0	-73.7%
(株)カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	INPUT	電気	GJ			1,067	1,125	955	943	-11.6%
		燃料	GJ			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
		水	千㎡			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂			59	51	44	43	-27.0%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
		廃棄物 再資源化	ton			2.9	2.4	2.8	3.1	5.9%
カワイ精密金属(株)浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	INPUT	電気	GJ		34,412	37,622	38,968	34,651	35,556	-5.5%
		燃料	GJ		11.6	11.1	10	8.7	7.4	-33.3%
		水	千㎡		17.9	18.7	22.8	20.0	22.1	18.0%
		化学物質	ton		34.0	32.3	20.7	14.4	11.1	-65.6%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		1,916	2,095	1,779	1,582	1,623	-22.5%
		化学物質	ton		32.0	31.0	15.0	12.6	9.0	-71.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		22.6	18.5	15.5	20.0	21.2	14.4%
		廃棄物 再資源化	ton		20.6	32.4	14.8	19.7	19.3	-40.4%
カワイ精密金属(株)松本工場 長野県松本市 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	INPUT	電気	GJ	57,070	53,203	45,411	50,632	34,959	30,391	-33.1%
		燃料	GJ	7,132	4,744	7,526	7,399	4,576	4,009	-46.7%
		水	千㎡	42.1	70.8	78.5	87.5	84.2	81.7	4.0%
		化学物質	ton		52.0	72.9	85.0	40.8	30.3	-58.4%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	2,679	3,060	2,834	1,919	1,671	-45.4%
		化学物質	ton		38.0	52.9	60.0	29.4	20.1	-62.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		12.0	10.5	12.4	13.8	9.2	-12.1%
		廃棄物 再資源化	ton		77.9	61.4	78.6	68.7	53.9	-12.2%
本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	INPUT	電気	GJ		10,834	9,620	9,823	8,960	8,989	-6.6%
		燃料	GJ		646	484	626	597	546	12.8%
		水	千㎡		7.8	7.4	7.7	5.1	4.4	-40.5%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		644	541	492	450	448	-17.2%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	0.0	6.4	7.1	
		廃棄物 再資源化	ton		30.2	24.9	22.8	14.7	14.0	-43.9%

第三者意見

本報告書には、カワイグループの事業活動にともなう環境報告、社会性報告が分かりやすくまとめられている。項目ごとに要領よく要点を記述し、文章をできるだけ短くしてあるが、リンク先のホームページが示されており、必要に応じてさらに詳しい情報を見ることができるよう工夫されている。インターネットの特性を駆使した優れた体裁の報告書となっている。

優れているのはもちろん、体裁だけではない。「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」のもとに導入した環境マネジメントシステムが有効に機能しているという内容がみてとれる。CO₂排出量の削減については京都議定書の基準年である1990年度比で41%もの大幅な削減に成功している。産業廃棄物排出量は、一旦2010年度に増加しているが、これは生産合理化にともなう部品外注製造工程の構内への移設等の影響のためであり、重要なことは、それ以降、排出量が着実に減少してきていることである。昨年まで継続して90%程度であった産業廃棄物のリサイクル率を今年度は95%に向上させることができている。また、貴重な動植物保護の観点から独自に開発した人工象牙、人工黒檀を主力のピアノに採用したり、鍵盤に使用している鉛を廃止したりすることで環境配慮製品の開発にも努めている。これらの試みは、不断の努力の成果が現れているものと評価できる。今後一層の取り組みを期待したい。なお、省エネ法の改正に対応し、国内の当社、営業組織に対する環境マネジメントシステムについても取り組みが進んできているが、製造部門と営業部門で一律のシステムは馴染まないのではないかとされている昨今、営業組織にフィットする環境マネジメントシステム等の導入を検討することを考えてもよいのではないかと。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学大学院教授 中崎清彦先生から第三者意見を賜ることができました。心より御礼申し上げます。

この中で、エネルギー、CO₂、廃棄物といった地球環境への負荷を企業活動の中で軽減していく取り組み、音楽を通じた東日本大震災の被災地への継続的支援活動、さらにコーポレートガバナンス体制についてご評価を戴いたことは大きな喜びであります。

一方、ご助言いただきました環境マネジメントの全社への拡大につきましては、実効ある取り組みを推進してまいりたいと考えています。同時に、今後もカワイグループの取り組みについて、皆様へ分かりやすい情報の開示に努めてまいります。

(地球環境委員会 事務局)



東京工業大学 大学院 教授
中崎清彦 先生

社会性報告の中では特筆すべきことが3つあると思われた。1つは、東日本大震災の被災地に対する支援であり、チャリティーコンサートやピアノの寄贈をとおして継続的な支援がおこなわれている。2つめはインドネシアにおける植林活動が当初計画を大幅に上回って28万本にもおよぶ植樹を成功させたことである。植林計画は第5次計画という次のステップに移って、さらに植林を推進する取り組みが始まっている。もう一つが、コーポレート・ガバナンスの中で、コンプライアンスの推進と内部統制システムについての基本的な考え方が示されていることで、3ページを費やして丁寧な説明がなされている。公正で透明性の高い経営体制の実現に向けての考え方がよく現れた内容となっている。

以上のように、本報告書は環境社会報告書として、体裁、内容ともに優れ、カワイグループの真摯な取り組みがよく伝わってくるものとなっている。今後、企業活動をとおして、社会にさらに大きく貢献できるよう、継続した取り組みが期待される。

最後までお読みいただきましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、
下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、この頁をFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書 2013 へのご意見・ご感想

該当項目の□にチェックをお願いします。

Q1 環境社会報告書をどのようなお立場でお読みになりましたか？

- | | | |
|------------------------------------|---|---|
| <input type="checkbox"/> 投資家・株主として | <input type="checkbox"/> 河合楽器と取引関係にある | <input type="checkbox"/> カワイグループの従業員・家族 |
| <input type="checkbox"/> 政府・行政機関 | <input type="checkbox"/> 環境 NGO・NPO として | <input type="checkbox"/> 報道機関 |
| <input type="checkbox"/> 企業の環境担当者 | <input type="checkbox"/> 学生 | <input type="checkbox"/> 環境専門家・教育者・研究者 |
| <input type="checkbox"/> 事業所近隣の方 | <input type="checkbox"/> 製品のユーザー | <input type="checkbox"/> その他 () |

Q2 環境社会報告書を何でお知りになりましたか？

- | | | |
|---|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ホームページ (カワイ・カワイ以外) | <input type="checkbox"/> 環境セミナー等で | <input type="checkbox"/> 新聞・雑誌 |
| <input type="checkbox"/> 営業マン・教室・先生から | <input type="checkbox"/> その他 () | |

Q3 この環境社会報告書をお読みになってどのようにお感じになりましたか？

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ・報告書のわかりやすさ | <input type="checkbox"/> よくわかる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> わかりにくい |
| ・内容 | <input type="checkbox"/> 充実 | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 物足りない |
| ・情報量 | <input type="checkbox"/> 多すぎる | <input type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 不足である |

Q4 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？ (いくつでも)

- | | |
|--|---|
| ◎企業概要 | ◎社会性報告 |
| <input type="checkbox"/> 表紙 | <input type="checkbox"/> 経営計画 |
| <input type="checkbox"/> カワイグループの事業と会社の概況 | <input type="checkbox"/> 第4次中期経営計画 |
| <input type="checkbox"/> 編集方針 | <input type="checkbox"/> コーポレート・ガバナンス |
| <input type="checkbox"/> 社長コミットメント | <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス体制・内部統制システム |
| <input type="checkbox"/> カワイの経営の理念・行動指針 | <input type="checkbox"/> リスク管理体制 |
| <input type="checkbox"/> カワイグループのあゆみ | <input type="checkbox"/> 株主・投資家の皆様とともに |
| <input type="checkbox"/> 東日本大震災の被災地域への継続的支援活動 | <input type="checkbox"/> お客様との関係 |
| ◎環境報告 | <input type="checkbox"/> 文化貢献活動 |
| <input type="checkbox"/> カワイの環境への取り組み | <input type="checkbox"/> 教育事業 |
| <input type="checkbox"/> 地球環境憲章・環境方針・環境推進組織 | <input type="checkbox"/> カワイ健康づくりシステム |
| <input type="checkbox"/> 環境経営 | <input type="checkbox"/> スポーツコミュニティ |
| <input type="checkbox"/> 2012年度の環境目標と実績 | <input type="checkbox"/> コミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 事業活動に伴う環境配慮 | <input type="checkbox"/> 地域社会との共生 |
| <input type="checkbox"/> 地球温暖化の防止 | <input type="checkbox"/> インドネシアにおける植林活動 |
| <input type="checkbox"/> 製品の環境負荷 (LCA) | <input type="checkbox"/> 地域との交流 |
| <input type="checkbox"/> 廃棄物削減・再資源化 | <input type="checkbox"/> 情報発信 |
| <input type="checkbox"/> グリーン調達 | ◎資料編 |
| <input type="checkbox"/> 環境配慮型製品 | <input type="checkbox"/> 環境負荷サイト別一覧 |
| <input type="checkbox"/> ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵 | <input type="checkbox"/> 第三者意見 |
| <input type="checkbox"/> 医療・研究産業用防音ルーム『サイエンスナサールFSS』 | <input type="checkbox"/> アンケートのお願い |
| <input type="checkbox"/> 省電力型デジタルピアノ | |
| <input type="checkbox"/> 環境パフォーマンス | |
| <input type="checkbox"/> マテリアルバランス | |

Q5 環境社会報告書の内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄にご記入願います。(個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません)

お名前	ふりがな
	男・女 年齢 歳
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒 —
ご連絡先	TEL FAX E-mail
ご職業 (勤務先・部署・役職名)	

FAX 053-457-1250

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地 株式会社 河合楽器製作所 総務人事部 CS環境室 行



株式会社 河合楽器製作所

お問合せ先

河合楽器地球環境委員会

事務局：総務人事部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地

TEL: 053-457-1252 FAX: 053-457-1250

URL:<http://www.kawai.co.jp>